岡谷市教育支援センター設置要綱の制定について

R7.3 教育総務課
(子ども教育相談センター)

1. 新要綱制定の概要

コロナ禍以降、様々な事情から不登校の児童生徒が増加しており、全国で毎年過去最高を更新するなど、不登校児童生徒に対する対策の強化が急務となっています。

本市の不登校支援は、市の自立支援教室設置要綱に基づく教室として、諏訪湖ハイツのフレンドリー教室及び市内4中学校に中間教室を開設しており、学校への復帰を主眼に通室により利用する子どもたちに対し、学習支援や自立に向けた支援等を行っています。

一方、国においては、令和5年度から、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）に基づく不登校対策を推進しており、不登校者が利用できる場所については、学校外の拠点を「教育支援センター」、校内に設ける教室は「校内教育支援センター」とする枠組みが示される中、令和7年度から国の補助制度が新設され、各地域の支援の充実が求められています。

これらの状況を踏まえ、本市における不登校支援の教室については、国の呼称に準じて、諏訪湖ハイツの「フレンドリー教室」を拠点型の「教育支援センター」とし、学校内の「中間教室」を「校内教育支援センター」と位置付けるため、新たな要綱を制定するものであります。なお、新要綱制定に伴い、旧要綱は廃止となります。

2. 新要綱の主なポイント

(第1条関係) 様々な事情により、登校に困難さを抱える児童生徒に対して、多様な学びの環境づくりの一つとして、社会的自立や登校への支援等を行うための教育支援センターの設置を趣旨とします。

(第2条・第3条関係)「教育支援センター」及び「校内教育支援センター」は、要綱において、不登校支援を実施する機関名とし、通常用いる呼称については、諏訪湖ハイツの教室は「フレンドリー教室」、校内の教室は「自立支援教室」としています。

なお、新要綱制定に合わせ、令和7年度から従来の4中学校に加え、小学校(長地小学校)への新設も予定しています。

3. 施行日 令和7年4月1日

岡谷市教育委員会告示第 号

岡谷市教育支援センター設置要綱を次のように定める。

令和 年 月 日

岡谷市教育委員会
教育長 宮 坂 享

岡谷市教育支援センター設置要綱

別紙のとおり。

岡谷市教育支援センター設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、小中学校に在籍し、様々な事情により学校への登校に困難さを抱える児童生徒に対し、社会的自立や登校への支援等を行う岡谷市教育支援センター（以下「教育支援センター」という。）の設置について、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 教育支援センターは、おかや総合福祉センターに拠点型の教育支援センターを学校内に校内型の校内教育支援センターを設置する。

(名称及び位置)

第3条 教育支援センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
フレンドリー教室	岡谷市長地権現町四丁目11番50号 おかや総合福祉センター内
岡谷西部中学校自立支援教室	岡谷市川岸中一丁目1番1号 岡谷西部中学校内
岡谷北部中学校自立支援教室	岡谷市赤羽二丁目1番24号 岡谷北部中学校内
岡谷南部中学校自立支援教室	岡谷市湊二丁目1番8号 岡谷南部中学校内
岡谷東部中学校自立支援教室	岡谷市長地柴宮一丁目9番13号 岡谷東部中学校内
長地小学校自立支援教室	岡谷市長地源一丁目1番3号 長地小学校内

(通室許可対象者)

第4条 教育支援センターへの通室を許可する対象者は、岡谷市在住の小中学校の児童生徒とする。

2 前項の規定にかかわらず、岡谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは、同項に規定する以外の小中学校の児童生徒についても通室を認めることができる。

(業務内容)

第5条 教育支援センターに自立支援員を配置し、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 情緒の安定、人間関係力の向上及び集団生活への適応に関すること。
- (2) 学習への興味及び意欲醸成、基礎学力の補充並びに学力の定着及び向上に関すること。

- (3) 興味や趣味の拡大、体験の広がり及び生活力の向上に関すること。
- (4) 健康や体力の維持増進及び基本的な生活習慣の改善に関すること。
- (5) 本人又は保護者等との相談及び連携に関すること。
- (6) その他教育委員会が必要と認める支援及び相談に関すること。

(学校及び保護者等との連携)

第6条 教育委員会、通室する児童生徒が在籍する学校長等（以下「在籍学校長等」という。）及び自立支援員は、教育支援センターの目的を達成するため、次のとおり学校及び保護者等と緊密な連携に努めるものとする。

- (1) 在籍学校長等及び自立支援員は、児童生徒の通室に至るまでの経過及び通室後の様子等について、相互に共有し、連携を図るものとする。
- (2) 通室する児童生徒の状況に応じて、在籍学校と教育支援センターを交互通学（通室）すること等も配慮するものとする。
- (3) 自立支援員は、必要に応じて保護者等と面接相談、家庭訪問等を行うものとする。

(教育支援センターの開設日及び開設時間)

第7条 教育支援センターの開設日及び開設時間は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 開設日は、毎週月曜日から金曜日までとする。ただし、次に掲げる日は、開設しない。

ア 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日

イ 12月29日から翌年の1月3日までの日（祝日法に規定する休日を除く。）

ウ 教育支援センターを設置する小中学校の休業日

- (2) 開設時間は、次に掲げるとおりとする。ただし、各教室の利用時間については、自立支援員が個々の通室する児童生徒に応じ適宜定めるものとする。

ア フレンドリー教室 午前9時から午後3時まで

イ 各小中学校の自立支援教室 当該学校の登校時刻から下校時刻まで

(通室手続等)

第8条 保護者及び児童生徒が教育支援センターの利用を希望するときは、岡谷市教育支援センター利用申込書（保護者用）（様式第1号）を在籍学校長等に提出するものとする。

2 在籍学校長等は、前項の書類の提出があったときは、内容を審査し、適当と認めると

きは、岡谷市教育支援センター利用申込書（学校用）（様式第2号）を、教育委員会に提出するものとする。

3 教育委員会は、前項の書類の提出があったときは、内容を審査し、適当と認めるときは、通室を許可するものとする。

4 教育支援センターの利用を終了するときは、保護者の申出により在籍学校長等が岡谷市教育支援センター利用終了届（様式第3号）を教育委員会に提出するものとする。

（報酬及び服務等）

第9条 自立支援員の報酬等の支給及び服務等は、岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例（令和元年岡谷市条例第28号）その他関係する条例等に定めるところによる。

（独立行政法人日本スポーツ振興センター法の適用）

第10条 児童生徒の自宅から教育支援センターまでの往復及び活動中の事故等については、独立行政法人日本スポーツ振興センター法（平成14年法律第162号）による災害共済給付の適用を受けるものとする。

（補則）

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、令和7年4月1日から施行する。

（岡谷市自立支援教室設置要綱の廃止）

2 岡谷市自立支援教室設置要綱（令和2年岡谷市教育委員会告示第2号）は、廃止する。

（経過措置）

3 この告示の施行の際、現にこの告示による廃止前の岡谷市自立支援教室設置要綱の規定により岡谷市自立支援教室への通室を許可されている者は、第8条の規定による教育支援センターへの通室を許可された者とみなす。

様式第1号（第8条関係）

岡谷市教育支援センター利用申込書（保護者用）

年 月 日

学校長 様

保護者氏名

下記のとおり、教育支援センターを利用させたいので、申し込みます。

記

氏名			
生年月日	年	月	日生 歳
連絡先	住所： 電話番号： 緊急連絡先（名前／連絡先）：		
学校名		学年・組	年組
担任氏名			
通室を希望する教室名	フレンドリー教室 () ※どちらかに○を _____ 学校自立支援教室 () ※自立支援教室は学校名を記入		
通室方法	①自宅からの通室距離 約 km		
	②主な通室手段 ※どれかに○を	・() 徒歩 約 分	
		・() 自転車 約 分	
		・() 自家用車での送迎 約 分	
		・() シルキーバス 約 分 乗車バス停 []	
・() スワンバス 約 分 乗車バス停 []			

様式第2号（第8条関係）

岡谷市教育支援センター利用申込書（学校用）

第 号
年 月 日

岡谷市教育委員会 様

（在籍学校及び校長氏名）学校名

校長名

印

下記のとおり、教育支援センターを利用させたいので、申し込みます。

記

氏名		性別	
生年月日	年 月 日生	歳	
学年・組	年 組	担任氏名	
住所 連絡先	保護者名 住所 自宅Tel 緊急連絡先（携帯Tel等）		
通室を希望 する教室名	フレンドリー教室 () ※どちらかに○を _____学校自立支援教室 () ※自立支援教室は学校名を記入		
通室方法	①自宅からの通室距離 約 km		
	②主な通室手段 ※どれかに○を	・() 徒歩 約 分	
		・() 自転車 約 分	
		・() 自家用車での送迎 約 分	
		・() シルキーバス 約 分 乗車バス停 []	
・() スワンバス 約 分 乗車バス停 []			

【裏面あり】

様式第3号（第8条関係）

岡谷市教育支援センター利用終了届

年 月 日

岡谷市教育委員会 様

保護者氏名

学校名

校長名

印

下記のとおり、教育支援センターの利用を終了させたいので、届け出ます。

記

氏 名	
生年月日	年 月 日生 歳
学 校 名	
学年・組	年 組
学校復帰・卒業 年 月 日	年 月 日
担任氏名	
通室を終了 する教室名	フレンドリー教室 () ※どちらかに○を _____ 学校自立支援教室 () 自立支援教室は学校名を記入
終了の理由	